

アブラキサン療法

治療のスケジュール

※症状や経過に合わせて
お休み期間は変わることがあります

外観	お薬名	点滴時間	薬の効果	スケジュール	
				1日目	2～21日目
	吐き気止め	10分	吐き気を 予防します	○	お休み※
	アブラキサン (成分名：パクリタキセル)	30分	がん細胞の 増殖を抑えます		

アブラキサンについて

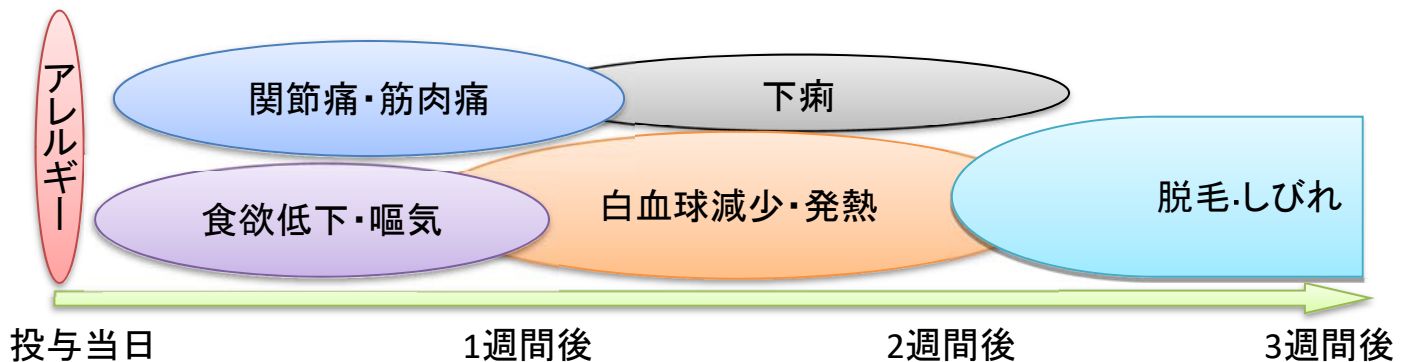
- パクリタキセルという抗がん剤に、ヒト血液の中にあるタンパク質であるアルブミンを加えて、投与中に起こるアレルギーを減らしています。

※他の薬剤に比べて調製に時間を要するため、
お待ちいただく時間があります、ご理解お願いいたします。

！ 点滴中の注意

- 点滴部位に強い痛みや腫れ、かゆみを感じた場合は早めに医療スタッフまでお知らせください。
- 投与中にアレルギー症状が起こることがあります。
点滴投与中に息苦しさや顔のほてり、吐き気・気分不快などの症状があらわれた場合は我慢せずに医療スタッフまで申し出てください。

起こりやすい副作用の発現時期と対処



食欲不振・吐き気

- ・ 抗がん剤点滴後に食欲が落ちたり、吐き気がおきることがあります。
- ・ その場合は無理して食べずに、食べやすいものを少しずつ食べるようにしましょう。
- ・ 吐き気止めで症状を予防・軽減することもできます。医療スタッフに相談ください

関節痛・筋肉痛

- ・ 点滴から2,3日後から10日後ごろまで一時的に関節痛・筋肉痛が現れることがあります。
- ・ 痛み止めで症状を和らげられる場合があります。ご相談ください。

しびれ

- ・ 投与3～5日後から、手首から指先・足首から足先にかけて刺すようにしびれたり、感覚が鈍くなることがあります。
- ・ 点滴を繰り返すと、しびれが強くなったり長く続く傾向があります。
- ・ 物が持ちにくい、ボタンがかけづらい、歩きにくいなど、日常生活に影響がある場合は、受診時に相談下さい。

白血球減少・貧血

- 抗がん剤投与から1～2週間後に白血球が減少することがあります。白血球が減ると体の抵抗力が弱くなり感染症にかかりやすくなります。
- 感染予防のために、外出の際は人ごみをさけ、手洗い・うがいをこまめに行いましょう。
- 赤血球中のヘモグロビン量が少なくなり貧血が起こることがあります。
- 買い物や車の運転などは、体調に無理のないよう行いましょう。
- 安静を心がけ、十分な睡眠・休養をとりましょう。

口内炎

- 口の中がしみたり傷んだり、赤く腫れることがあります。
- 口の中を清潔に保つため、うがいをこまめに行ってください。
- 食後は小さい歯ブラシで優しく歯磨きをしてください。

脱毛

- 個人差はありますが、抗がん剤投与後2～3週間ごろから髪の毛や体毛が抜けやすくなります。必要に応じて、あらかじめ帽子やかつらなどを準備しましょう。
- 抗がん剤治療終了後3～6か月すると再び生えてきます。

眼の症状

以下の症状があらわれた場合は、受診時に医療者に伝えて下さい。

- 眼がかすむ、ぼやけたりゆがんで見えることがある、視力が低下した



自宅でこのような症状が現れたら、必ずご連絡下さい

- 38度以上の発熱があるとき
- 乾いた咳が続く、または運動時以外にも息切れを感じる時
- 1日の半分以上を寝てすごすほどのだるさがあるとき
- 吐き気止めの薬を内服していても、1日6回以上の嘔吐、または水分をとれないほどの吐き気があるとき
- 1日7回以上の下痢があるとき
- 点滴した部位が赤く腫れてきた、痛みや熱感がある
- 皮膚に発疹やじんましんが出てきた



病院へ電話する前に確認しましょう

- ① 診察券番号
- ② おかかりの診療科
- ③ 主治医の名前
- ④ 抗がん剤治療中であること
- ⑤ 気になる症状（具体的に）

連絡先

横浜市立大学附属病院

電話：045（787）2800（代表）

《平日8：30～17：00》 各診療科

《平日の夜間および休日》 救急外来

※ ここに診察券の内容を写しましょう

			—				—	
--	--	--	---	--	--	--	---	--

お名前

